

令和4年4月27日付けで公表しました「令和4年度高付加価値観光コンテンツ整備及びプロモーション業務委託」企画提案コンペについて、質問がありましたので回答します。

質問

業務仕様書「3 ターゲット層の考え方」について、「富裕層」との記載はありますが、方面の記載はありません。

一方、「4 業務内容」「(3) 旅行会社等に対する提案資料の作成」について、「提案資料は日本語・英語・繁体字・簡体字・フランス語・タイ語の6言語で作成すること」となっています。

これは、「3 ターゲット層の考え方」には方面の記載はないものの、実質的にはこの6言語の方面を対象としている事でしょうか。もしくは提案者の方で対象の方面を絞った提案をしてもよろしいでしょうか。

質問の意図としては、各方面で趣味嗜好がかなり異なるため、全ての市場の最大公約数的なコンテンツではだれにも刺さらないものになってしまうのではないかと危惧するものです。また、欧米に絞ったコンテンツでは、繁体字、簡体字、タイ語で作る旅行会社向け提案資料が無駄になってしまうと考えるものです。

回答

「3 ターゲット層の考え方」のとおり、高付加価値旅行者層をターゲットにしており、特に6言語の市場（方面）を前提にしている訳ではありません。また、当該ターゲットに効果的・効率的に訴求すること等を目的に、対象市場（方面）を絞ることも可能です。なお、作成する提案資料ですが、本業務以外でも活用しますので、対象市場（方面）を絞った場合でも6言語で作成してください。

また、提案者において対象市場（方面）を絞る場合は、参加仕様書「5 企画提案コンペの参加希望者に提出を求める企画提案資料」「(4) 企画提案書」「(ア) 業務仕様書・・・について」に基づき、その理由や趣旨、基本的な考え方等について記載していただくことになります。